

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成26年1～3月）のポイント

※特定本邦事業者

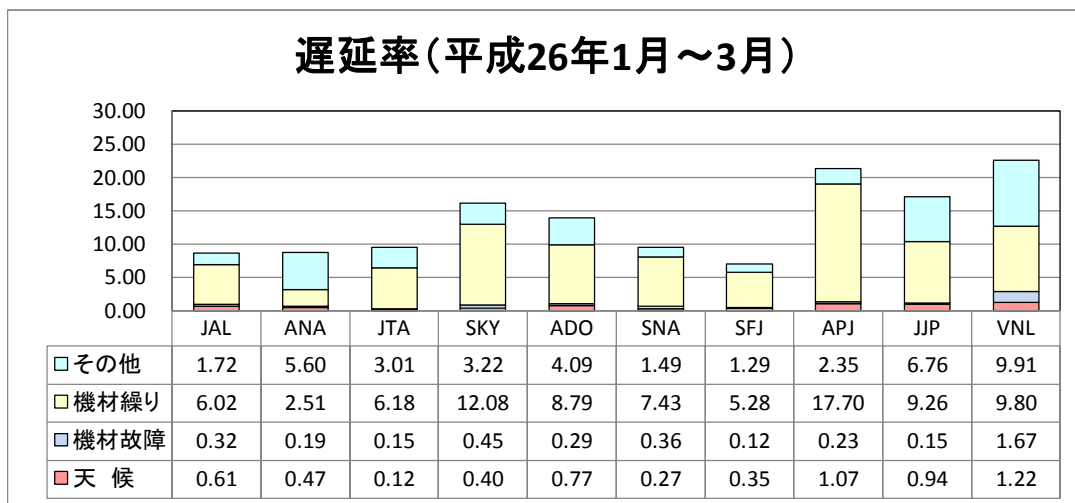
- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、ジャルエクスプレス）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- スカイネットアジア航空：SNA
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- ハネウエア：VNL

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

（1）遅延率（平成26年1月～3月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
10.19%	9.05%	1.14ポイント上昇

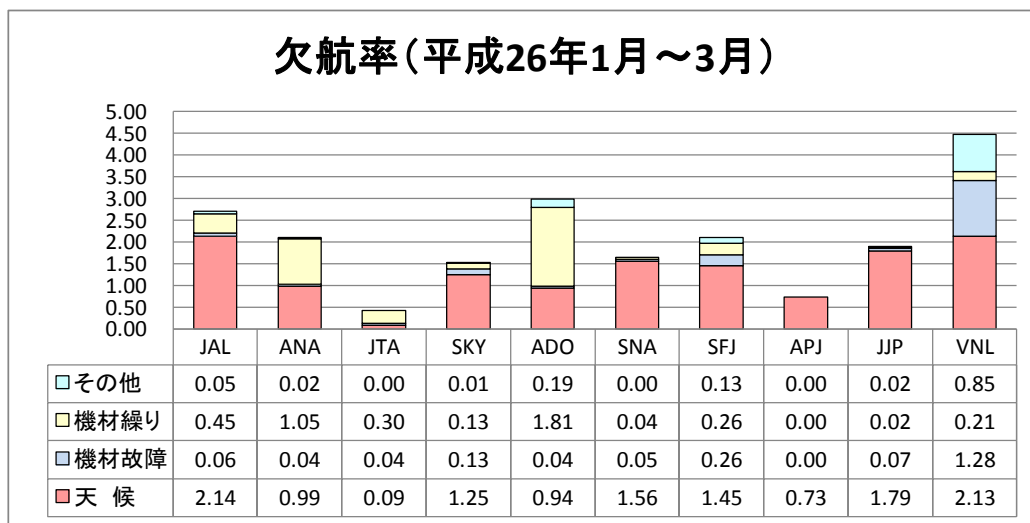
※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

（2）欠航率（平成26年1月～3月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
2.16%	2.34%	-0.18ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成26年1月～3月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	932km	933km	0.11%減
輸送人員	2139万0818人	1987万4736人	7.63%増
輸送人キロ	199億3476万人km	185億4044万人km	7.52%増
旅客収入	3069億97百万円	2924億61百万円	4.97%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.4千円	14.7千円	2.14%減
輸送人キロあたり 旅客収入	15.4円	15.8円	2.37%減

(2) 路線別データ（平成26年1月～3月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	210万7776人
2位	東京＝福岡	199万8069人
3位	東京＝那覇	126万1772人
4位	東京＝大阪	123万7035人
5位	東京＝鹿児島	55万0209人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	関西＝鹿児島	88.9%
2位	関西＝仙台	87.7%
3位	関西＝長崎	85.4%
4位	成田＝関西	82.1%
5位	成田＝大阪	81.1%
全路線		63.6%

下位5路線は次のとおり。

1位	札幌＝紋別	24.2%
2位	成田＝広島	26.1%
3位	札幌＝稚内	30.3%
4位	東京＝三宅島	32.3%
5位	東京＝大島	33.0%
全路線		63.6%

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成26年1～3月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールス（搭乗手続きにきた予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	全日本空輸	2.98人	1.39人
②	スターフライヤー	2.91人	1.29人
③	日本航空	1.95人	1.58人
	全社平均	2.45人	1.37人